

「大学生を対象とした農作業体験を伴う意見交換会」開催概要

平成25年11月19日
中国四国農政局広島地域センター

1 日 時

平成25年11月17日（日）13:30～16:10

2 場 所

(1) 農作業体験

「畑のやおや」ほ場（広島県廿日市市上平良字堂河内）

(2) 意見交換会等

廿日市市上平良集会所（広島県廿日市市上平良1032-1）

3 参 加 者

11名（山陽女子短期大学生10名、准教授1名）

4 概 要

(1) あいさつ

広島地域センター 総括管理官（消費・安全） 楠 田 義 彦

(2) 農作業体験

ア 作業指導者

「畑のやおや」店主 名 井 義 則 氏

イ 収穫作物（ジャガイモ、サツマイモ、里芋）

（ア）ジャガイモの収穫



「鍬って難しいなあ～」

「こうやって使うんじゃ」

「収穫いえ～い！！」

（イ）サツマイモの収穫



「掘って掘って・・・」

「おーっ 大量じゃあ！」

「サツマイモチーム」

(ウ) 里芋の収穫



「抜けんよ〜！」



「ようけ ついとるよ」



「大量でえーす」

ウ 基調講演

【テーマ】「食の大切さを農業とともに考えよう」

【講演者】「畑のやおや」店主 名 井 義 則 氏

講演概要

(ア) 「畑のやおや」について

- a 始めたきっかけについて
- b 販売のシステム・採算性・お客さんの反応について
- c こだわりの栽培方法・野菜作りの面白さや大変さについて

(イ) 野菜作りのあれこれについて

- a 野菜の種類について
- b 栽培方法（露地・施設、促成・抑制）について
- c 土壌の成分について
- d 連作障害と輪作について
- e 肥料成分、農薬・化学肥料等について

(ウ) 食の安心・安全について

- a 近未来のお母さんとしての役割について
- b 日本の食料自給率について
- c 輸入農産物の安心・安全について
- d 未来の食料のために、今、私たちがすべきことについて

(エ) その他

- a 発想の転換について（色々な方向から見つめ直す）
- b 農作業体験の受入可能について



エ 意見交換会（アンケート結果を含む）

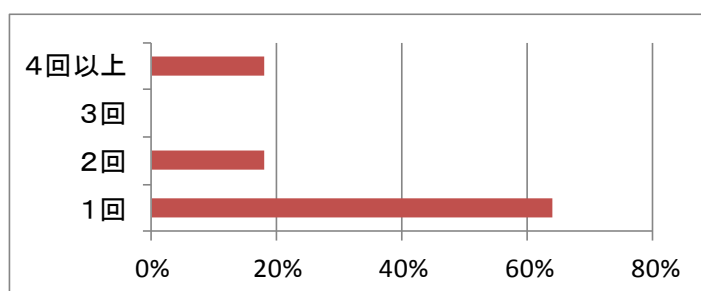
- ・安心して食べられる野菜を作ってくださいことを望む。
- ・今日の農作業体験は、とても楽しかった。なかなか畑や土に触れる機会も減っているので、このような体験はもっと行ってほしいと思う。
- ・講演にもあったが、店に並んでいる商品は泥もついていない綺麗な物ばかりだが、私は泥がついている方が本当に新鮮な物だと感じる。今の若い人たちにも、もっと畑仕事について感心を持ってほしい。
- ・今回の体験で、野菜の特徴やどうやってできているかがわかった。食べ物の大切さを学べて良かった。
- ・実際に自分で野菜を収穫するシステムはとてもよい方法だと思う。店頭で野菜を買うのとは違った感情もあり、手にとって触れるのはとても大切だと思う。

- ・今回、初めて農作業を体験した。できた物を収穫するだけだったが、ここまで育てるのがとても大変だと思った。今回の体験を通して、野菜の見方が変わった。
- ・スーパーで売られる前の状態を自分で収穫し、そのまま持ち帰って食べられる「畑のやおや」は、良い体験ができる良いシステムだと思った。
- ・諸外国と比べて、日本の食料自給率の低さに驚いた。

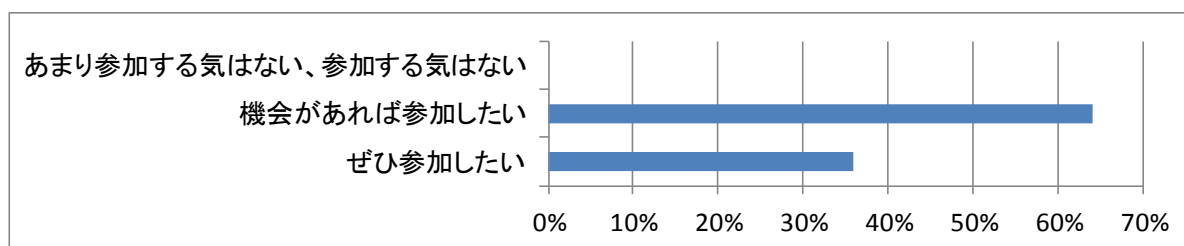
5 アンケート結果

回答者属性 女 性 10名（学生）
 〃 1名（准教授）

問1 農作業体験は今回で何回目ですか？



問2 今後、このような農林漁業体験活動に参加したいですか？



問3 今回の意見交換は参考になりましたか？

